

一選
ビ予
グ予
ラ予
校予
高予
国予
全予
大予

秋田—男鹿工

秋田中央—秋田工

4強きよう対決

きようの試合

▽準決勝

秋田 (13・00) 男鹿工

秋田中央 (14・20) 秋田工

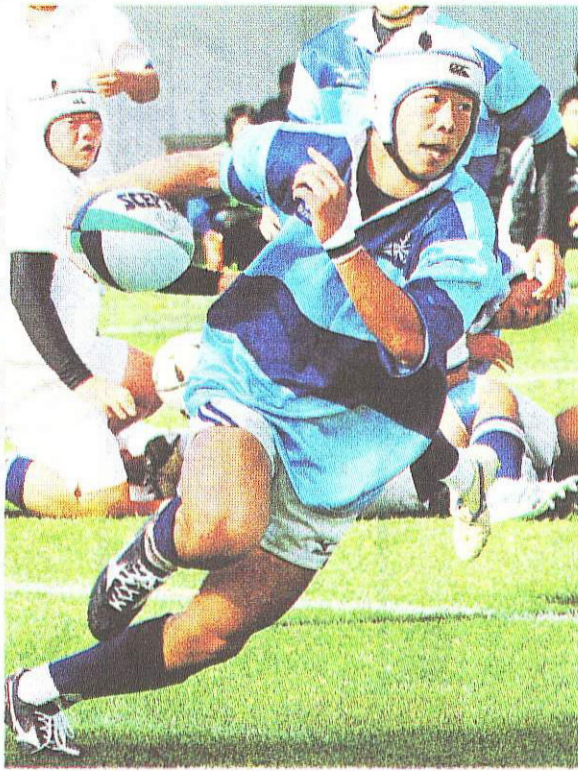
第86回全国高校ラグビー大会予選第4日はきよう21日、秋田市の八橋球場で秋田—男鹿工、秋田中央—秋田工の準決勝を行う。

W、BKが一体となったテンポの速い展開ラグビーが身上。FW戦を得意とする男鹿工は、相手のペースに合わせることもなく戦えるかが勝敗のポイントとなりそうだ。

秋田中央—秋田工はともにFWを攻撃の基礎とする。互いにBK陣には快足のトライゲッターがそろい、スクラム、モールといった接点でどちらが優位に立つかが焦点。

秋田 花園懸け 24日激突

第86回全国高校ラグビー大会県予選第4日は21日、秋田市の八橋球技場で準決勝を行ない、第1シードの秋田工と第2シードの秋田工が決勝進出を決めた。秋田は男鹿工の粘り強い守りに苦戦しながら



〈第4日〉

も4トライを奪い、競り勝った。秋田工は先制を許しながらも、後半モールの起点にトライを重ね逆転勝ちした。全国大会出場権を懸けた決勝は24日午後2時から同球技場で行う。

【準決勝・秋田ー男鹿工】前半10分、秋田FW柴田がトライを決める。秋田市八橋球技場

きのうの結果

▽準決勝
秋田 28ー7 男鹿工
秋田工 20ー5 秋田中央

秋田4トライ奪う 男鹿工は攻め手に欠く

男鹿工は攻め手に欠く

秋田がミスを犯しながらも、所要所でトライを奪い、男鹿工を下した。秋田は前半5分、相手からゴール前に進み、安藤が先制トライを奪った。後半は状況判断ミスが続いた。相手ゴール前で反則を得ながら、タッチキックではな

「何をやっているのかよくわからない。落ち着きもなく、チームがばらばらになっている」。秋田・近藤周平監督は試合後、こう激（げき）を飛ばした。3年ぶりの決勝進出という結果こそ収めたものの、内容的には苦戦。選手表情に笑顔はなかった。ちぐはぐなプレーが目立った。FW、BKが連動したプレーができず、波に乗れなかった。「早い時間で1本取ったことが影響したのかもしれない」と吉田建雄主将（3年）

焦点 第1シード 秋田 状況判断のミス反省

前半5分、10分と練習を重ねてきたセットプレーを起すのにミスが続いた。相手ゴール前で反則を得ながら、タッチキックではな

村木聖季 野間藤野 野田野田 木佐柏真 高佐小大伊安三 清野繁吉
【秋田工】FW H B T B
輪司口原藤木田吉野藤畑田谷藤
柿郡田藤工鈴柴出小安江近吉金斎

東野亮 藤達井玉橋良原藤嶋辺井井
伊小佐佐松小高会宮近嶋川鐘夏
【秋田工】FW H B T B
尾野田藤田藤森長川木山克正
七佐小武斎浜山安天中船岡佐藤

▽文代一【男】
鷲谷（大関）

男鹿工は守りで踏ん張ったがセットプレーが決まらず攻め手を欠いた。男鹿工、ミスに泣く

○：前半5分に秋田に先制トライを許し、最終追う展開となった男鹿工。逆転を目指し、FWの連続サイド攻撃で何度も敵陣深く攻め込んだが、肝心なところでライ

同10分にはモールからサイドアタックを決めリードを広げた。しかし後半はキックでの判断ミスなどが目立ち、持ち前のテンポの良い攻撃ができな

は振り返った。風下の後半は状況判断ミスが続いた。相手ゴール前で反則を得ながら、タッチキックではな

秋田工が逆転勝ち 中央FW、後半に崩れる

中央FW、後半に崩れる

ニアアウトなどのミスが目立ち、攻めのリズムに乗れなかった。内藤徳男監督は「勝負

【準決勝・秋田中央ー秋田工】試合終了間際、秋田工のWTB鎌田がゴール右隅にトライし秋田市八橋球技場



田工がキックで効果的に陣地を奪い、秋田中央に逆転勝ちした。秋田工は5ー5の後半

19分、ラインアウトからモールを直接押し込み、勝ち越しに成功。同27分、ロスタイムにもラインアウトを起点に2トライを挙げ、突き放した。

秋田中央は前半終了間際に先制。しかし後半は自陣での守りに終始し、FW陣が疲弊したところ

またも壁を破れず

秋田工 風味方に劣勢挽回

秋田工に風上から距離のあるキックで陣地を稼がれ防戦一方。ゴールライ

昨年S Oとして秋田工と戦った奈良良太（2年）は「この悔しさを忘れない。来年こそ必ず秋田工を倒して花園に行

胸に誓っていた。

ハイライト

でゲームに入ってしまった。FWリーダー・高橋大祐（3年）の言葉通り、前半は自慢のFWが接点で押し負けた。自陣に攻め込まれる場面が続き、28分には秋田工のお株を奪うラインアウトからのモールトライで先制を許した。

FW陣で劣勢に立たされても動じなかった。後半、風上となった秋田工はキックで陣地を取れば負けないと指示。その声にファイ

ハーフタイム、柴田久寛監督は「後半はうちが風上。キックで陣地を取れば負けないと指示。その声にファイ

FW陣が疲弊したところ

またも壁を破れず

秋田工に風上から距離のあるキックで陣地を稼がれ防戦一方。ゴールライ

昨年S Oとして秋田工と戦った奈良良太（2年）は「この悔しさを忘れない。来年こそ必ず秋田工を倒して花園に行

胸に誓っていた。